

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公開番号】特開2003-106111(P2003-106111A)

【公開日】平成15年4月9日(2003.4.9)

【出願番号】特願2001-305556(P2001-305556)

【国際特許分類第7版】

F 01L 1/14

F 01L 1/18

【F I】

F 01L 1/14 E

F 01L 1/18 N

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月5日(2004.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記(1)式を満足する母線形状で、上記タペットローラ6の外周面にクラウニングを施した場合、本発明者等の面圧解析の結果によれば、上記タペットローラ6の外周面とカム2の外周面との間に5/1000程度の傾きが生じても、これら両周面同士の当接部にエッジロードに基づく過大な面圧が加わる事はない。従って、上記タペットローラ6の外周面に形成した、固体潤滑処理皮膜又は窒化処理皮膜の一部が早期に剥離する事を防止して、エンジンの慣らし運転時等の、上記タペットローラ6及び上記カム2の外周面に傷等の損傷が生じる事を防止して、これらタペットローラ6及びカム2を含むエンジンの動弁機構の耐久性向上を図れる。